

第2回まちづくり委員会資料

令和7年10月29日（水）

○本日（第1回）のゴール

- ・**香美市振興計画の概要について理解を深める**

- 振興計画の構成や、現行の振興計画について学びましょう

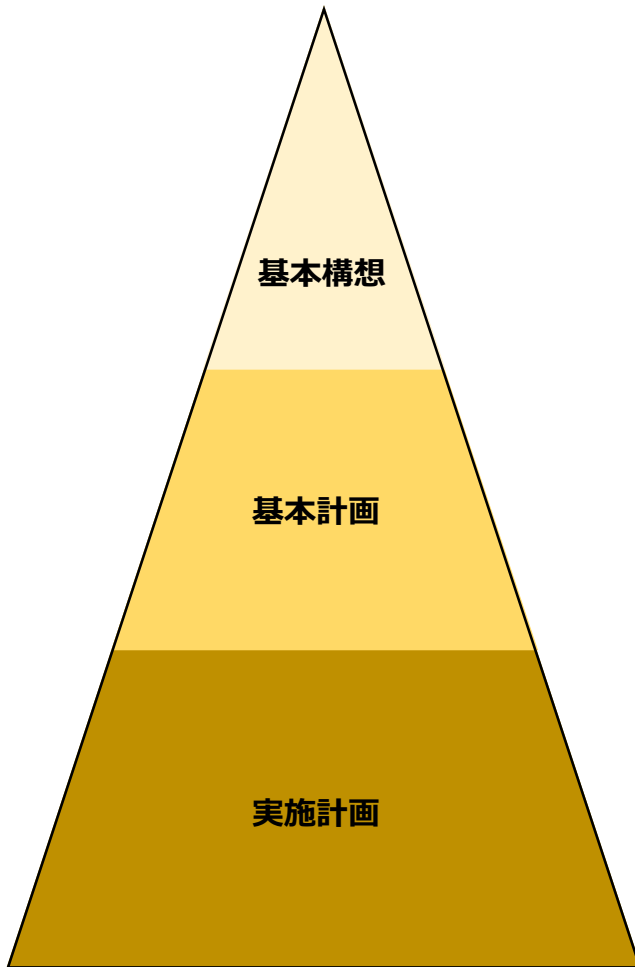
- ・**基本理念と将来都市像について理解を深める**

- 基本理念と将来都市像の違いについて理解し、それぞれの関係性について学びましょう

- ・**10年後の「香美市」について考える**

- 将来都市像を考えるために、10年後の香美市について意見を出し合いましょう

〇市町村の総合計画とは？



①基本構想とは

まちの将来像やまちづくりの目標を定めるものです

長期的な視点での、まちづくりの方向性を定めた基本理念とその理念に基づいた目指すべき将来像や政策の体系を定めます。



基本計画へと展開

②基本計画とは

基本構想の実現のために取り組む政策と施策を定めるものです

分野別の政策や横断的な政策の内容を定めるとともに、それらの具体的な取組を定めます。



実施計画へと展開

③実施計画とは

基本計画に基づいた個別の事業を定めるものです

基本計画で定めた政策を効果的に推進するため、市が取り組む事業を定めます。

そもそも基本理念、将来都市像とは


基本理念とは

○計画全体の根幹をなす考え方や価値観を示すもので、計画が目指す方向性を明確にし、具体的な施策や事業を検討・実施する際の判断基準となります。

つまり…

市民・行政が共有する思い

すべての施策の活動指針

 たとえば：

「人と自然が共に生きるまちを大切にしたい」
「地域の絆と支えあい未来へつなげたい」
「子どもたちに誇れるまちを残したい」


将来都市像とは

○10年後の香美市の目指す姿を定めたもので、10年間の計画における目的となるものです。

つまり…

市民と行政が共有する未来のまちの姿

各分野の取組（教育・福祉・観光など）の目標を定めるための基準

 たとえば：

「自然と人が調和し、笑顔があふれるまち」
「子どもも高齢者も安心して暮らせるまち」
「地域に挑戦と文化が息づくまち」

○関係性を観光施策の充実を例に考えてみると……

- ◇基本理念 : 『みんなが楽しめて、地域の誇りになる場所にしたい』 → 思い・考え方
- ◇将来都市像 : 『観光客でにぎわい、笑顔があふれるまちにしたい』 → 理想の姿
- ◇取組（施策） : 「新たな観光資源の発掘」「既存施設の磨き上げ」 → 具体的な取組

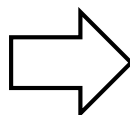
本市の振興計画について

①基本構想

第1章 計画の基本理念

I まちづくりの方向性

- ・地域の良さを大切にするまちづくり
- ・みんなが元気に暮らせるまちづくり
- ・みんなで共に進めるまちづくり



II 基本理念

輝き・やすらぎ・賑わいを
みんなで築くまちづくり

計画の基本理念は、**合併時に策定された「香美市まちづくり計画」**に掲げられているものです。

「香美市まちづくり計画」においては、「こほく夢語り懇談会」や住民アンケート調査結果などの**新しいまちづくり**に対する住民意見等から「めざすべきまちづくりの方向」をとりまとめ、それらをふまえて「基本理念」が作成されております。

この基本理念は、まちづくりの中心となる考えであることから、振興計画において、第1期から現在まで、この方向性及び基本理念を発展的に引き継いでおります。

第2章 将来目標

I 将来都市像

美しく豊かな自然に育まれ、共に支えあう
進化する自然共生文化都市・香美市

将来都市像は、基本理念に基づいて、今後10年間で本市が目指すべき都市像を設定するものです。

現在は、第1次振興計画と平成25年に策定した市民憲章を基に策定されています。

II 将来人口

10年後の目標人口を設定し、達成するための条件や3つの視点を掲げています。

III 広域連携都市機能

本市の位置・交通条件、広域計画について説明しています。

IV 市内都市機能

都市計画マスタープランにおける、土地利用の骨格となる「交流拠点の形成」、「交流軸の整備と充実」、「交流ゾーン」を設定しています。

本市の振興計画について

第3章 基本方針と政策

将来都市像に基づいた将来人口等の目標を実現するための6つの基本方針、26の政策と67の施策を定めています。

輝き・やすらぎ・賑わいを
みんなで築くまちづくり

基本方針 1 まちのかたちを創る

都市計画に関すること / 市道等の整備に関すること / 公共交通等に関すること

基本方針 2 みどりを保つ

消防・防災に関すること / 水道に関すること / 汚水に関すること / 環境等に関すること / 防犯に関すること

基本方針 3 やすらぎを守る

保健に関すること / 医療に関すること / 福祉に関すること

基本方針 4 賑わいを興す

農林業に関すること / 商工業に関すること / 観光に関すること

基本方針 5 未来を拓く

子育てに関すること / 教育に関すること / 人権に関すること

基本方針 6 みんなで楽しく

協働に関すること / 行政に関すること / 高知工科大学との連携に関すること

②基本計画とは

67の施策について、①現状と課題、②基本的方向、③施策の内容を定めています。

基本計画は前期と後期に分かれており、各5年間としております。振興計画に基づき実施する事業については、基本計画から読み取れる内容でなければなりません。

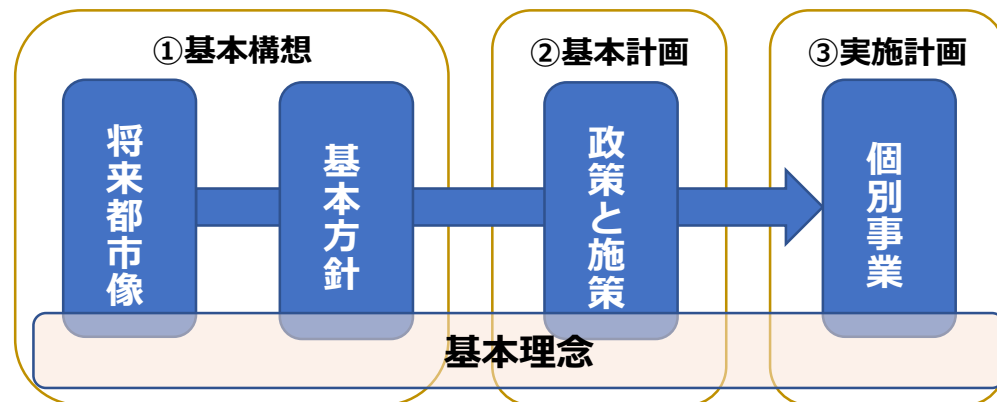
【資料 基本計画抜粋】

③実施計画とは

基本計画に基づいて実施する個別の事業について定めているものです。

各事業の事業概要や、予算額、総合戦略や市民との協働における事業の有無についてをまとめています。

【資料 実施計画抜粋】



今回、全3回で議論していくのは①基本構想です

本市の振興計画について

今回、基本構想の策定にあたり以下の点を課題と考えています。

①抽象度が高すぎるため、内容が理念的で分かりにくい

→住民はもちろんのこと、実際に計画を推進する職員にとっても「自分ごと」として捉えにくい状況です。

②「基本理念」と「まちづくりの方向性」

→似た概念が横並びに定められているほか、基本理念については説明がない状況です。

③「将来都市像」について

→将来都市像が定められているがその説明がない。また、目標として設定されているものは人口のみとなっている。

このことから、以下の点について見直しを考えております。

- ・まちづくりの方向性と基本理念を分けずに基本理念としてまとめていく
- ・将来都市像については、一定の共通認識が持てる程度の説明を付す、または見直しを検討する
- ・将来都市像を具体化するための指標を人口以外にも設定する

また、香美市振興計画審議会では以下の意見が出ています。

- ・市の方向性について分かりやすいキャッチフレーズが必要
- ・香美市らしさといえば「物部川」ではないか
- ・基本理念はすべて「まち」なので、「まちづくり」という言葉を前面に出しすぎると、物部町や香北町の住民にとっては関係ない話と感じてしまうのではないか

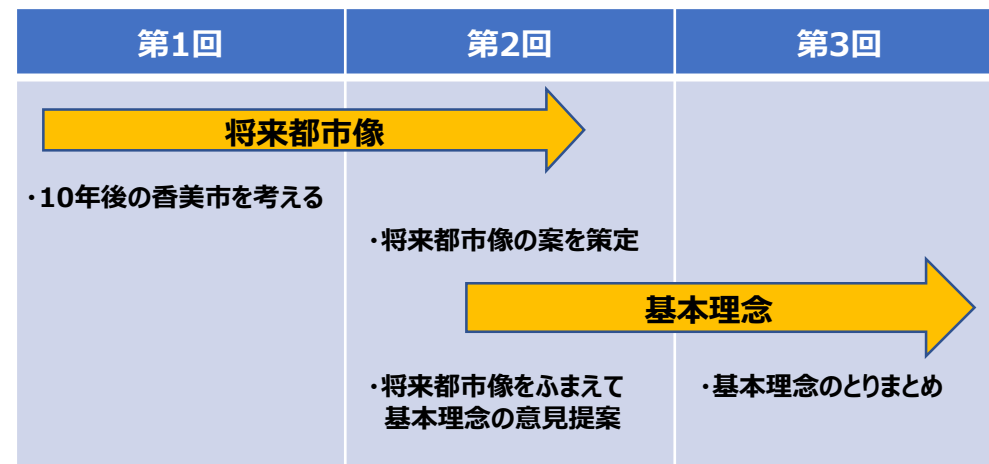
そこで、まちづくり委員会では以下の2つについて意見を頂きたいと考えています。

①基本理念について

ゴール：まちづくりの方向性と新しい基本理念（案）をまとめる

②将来都市像について

ゴール：一定の共通認識がもてる将来都市像（案）の策定



第1回で議論していくのは②将来都市像です

そもそも基本理念、将来都市像とは


基本理念とは

○計画全体の根幹をなす考え方や価値観を示すもので、計画が目指す方向性を明確にし、具体的な施策や事業を検討・実施する際の判断基準となります。

つまり…

市民・行政が共有する思い

すべての施策の活動指針

 たとえば：

「人と自然が共に生きるまちを大切にしたい」
「地域の絆と支えあい未来へつなげたい」
「子どもたちに誇れるまちを残したい」


将来都市像とは

○10年後の香美市の目指す姿を定めたもので、10年間の計画における目的となるものです。

つまり…

市民と行政が共有する未来のまちの姿

各分野の取組（教育・福祉・観光など）の目標を定めるための基準

 たとえば：

「自然と人が調和し、笑顔があふれるまち」
「子どもも高齢者も安心して暮らせるまち」
「地域に挑戦と文化が息づくまち」

○関係性を観光施策の充実を例に考えてみると……

- ◇基本理念 : 『みんなが楽しめて、地域の誇りになる場所にしたい』 → 思い・考え方
- ◇将来都市像 : 『観光客でにぎわい、笑顔があふれるまちにしたい』 → 理想の姿
- ◇取組（施策） : 「新たな観光資源の発掘」「既存施設の磨き上げ」 → 具体的な取組

○なぜ将来都市像から考えるのか・・・？

- ・未来の理想像を描くことで、目指す方向が共有できる
- ・「どうありたいか」が決まれば、「何をすべきか」が見えてくる
- ・みんなで考えることで、香美市らしい未来像が生まれる

☆第1回ワークテーマ

テーマ『10年後、香美市がどうなっていたらうれしい？』

- ・まちの良いところを活かす
- ・“あったらいいな”と思うこと
- ・各分野の施策の充実
- ・現在の社会情勢を踏まえて（デジタル、アフターコロナ、withあんぱん 等）

10年後の香美市を想像していきましょう！

アイデアのヒント（他市町村の事例）

○高知市

高知市のめざすべき方向について、方向性を示したうえで、3つのまちづくりの理念を定めています。
将来都市像については、「森・里・海と人の環 自由と創造の共生都市 高知」とし、施策の大綱として6つの環を掲げています。

◇文献

URL : <https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/2/2011sougoukeikakukaiteibann.html>



○新潟市

現状・時代の潮流をふまえ、これからのまちづくりについて説明したうえで、まちづくりの理念を定めています。
その理念に基づいて目指す都市像「田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市」を定め、そのイメージについて説明しています。

◇文献

URL : <https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/seisaku/sogo/sogokeikaku2030/index.html>



○静岡市

基本理念と将来都市像を分けて定めずに、まちづくりの目標を「世界に輝く静岡」の実現」とし、その定義を2つの要件で定めています。また、振興計画全体が、住民に分かりやすい形で作成されています。

◇文献

URL : <https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s007372.html>



○泉大津市

将来都市像を「人と人との繋がりが紡ぐ 未来輝くまち 泉大津」としており、その実現に向けた「大切にしたい考え方」を基本理念として設定しています。

◇文献

URL : <https://www.city.izumiotsu.lg.jp/kakuka/koushitsu/seisakusuisin/atarashiisougoukeikaku/index.html>

